学校番号	1016

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　化学」　（第一学習社）						
副教材等	「新課程版　セミナーノート化学」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の化学の知識は、先人が試行錯誤、七転八倒しながら確立していったものです。原子の存在が自明になったのも、つい１００年ほど前のことです。

現在の化学は、生物学、医学、地球科学などの多くの学問を支えています。また、化学工業産業は私たちの豊かな暮らしには欠かせないものとなっています。それと同時に環境問題の元凶にもなっているという側面もあります。

化学を学ぶことによって持続可能な調和のとれた社会を実現する方法を模索してほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】化学の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、化学的に探究するために必要な観察実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】化学の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、化学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探究しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学の事物・現象を化学的に探究する技能を身に付けている。	化学の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を化学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする。 化学的に自然を見ることができるようになる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	化学基礎	(化学反応式の量的関係) 中和滴定 酸化・還元	a:酸化・還元に関する基礎的な理解がある。 b:酸化・還元の立場から化学現象を説明することができる。 c:酸化・還元が関わる化学的な現象について意欲的に探究しようとしている。	・定期考査 ・実験プリント	・定期考査 ・実験プリント	・ワークシート
	物質の状態	気体の性質 固体の構造 溶液の性質	a:物質の状態に関する基礎的な理解がある。 b: 物質の状態の立場から化学現象を説明することができる。 c: 物質の状態が関わる化学的な現象について意欲的に探究しようとしている。	・定期考査 ・実験プリント	・定期考査 ・実験プリント	・ワークシート
2	物質の変化と平衡	化学反応と熱・光 電池・電気分解	a:化学反応とエンタルピー変化について理解している。 b:ヘスの法則により未知の化学反応のエンタルピー変化を求めることができる。 c:化学反応とエンタルピー変化に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。	・定期考査 ・実験プリント	・定期考査 ・実験プリント	・ワークシート
		化学反応の速さ 化学平衡	a:ルシャトリエの原理について理解している。 b:化学反応の方向性について的確に表現することができる。 c:化学反応の方向性に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。	・定期考査 ・実験プリント	・定期考査 ・実験プリント	・ワークシート
3	電離平衡	電離平衡	a:電離平衡について理解している。 b:緩衝溶液について的確に表現することができる。 c:電離平衡に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。	・定期考査 ・実験プリント	・定期考査 ・実験プリント	・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度